

令和5年度
「モラル・エッセイ」コンテスト受賞者一覧



福島県教育委員会

[審査結果]

この度は、「モラル・エッセイ」コンテストに多数の御応募をいただき、誠にありがとうございました。一次・二次審査を経て下記のように受賞者が決まりました。

9名の皆様、受賞おめでとうございます。

中学生の部 最優秀賞 1名

「大好きな笑顔」 福島大学附属中学校 1年 横山 和奏 さん

優秀賞 2名

「祖父」 いわき市立中央台北中学校 3年 山内 荘大 さん

「小さな怪獣達」 会津若松市立第二中学校 1年 星 隆太郎 さん

高校生の部 最優秀賞 1名

「『適当』な母」 好間高等学校 3年 西山 莉央 さん

優秀賞 2名

「じいちゃん、ありがとう」 福島商業高等学校 2年 酒井 祈愛 さん

「震災の記憶」 福島商業高等学校 2年 赤間伊吹樹 さん

一般の部 最優秀賞 1名

「あいさつって…」 西郷村在住 蛭田 敦子 さん

優秀賞 2名

「あの時できた家族の絆」 南相馬市在住 手戸みきこ さん

「やさしさに触れて」 鏡石町在住 小貫明日香 さん

[応募総数]

	中学校	高等学校	一般	計
応募総数	1042	125	4	1171

〈審査委員〉	一次審査	義務教育課指導主事 高校教育課指導主事	
	二次審査	上越教育大学 学 長 日本大学工学部 教 授 福島県教育庁教育総務課長 福島県教育庁高校教育課長 福島県教育庁義務教育課長	林 泰成 氏 渡邊 真魚 氏 堀家 健一 箱崎 兼一 川井 孝寿

[講 評]

- 何気ない日常、ありふれた人々とのかかわりを改めて見つめ直すと「自分を成長させるきっかけ」「自分の支えとなる存在」「一步を踏み出す勇氣」といった気づきが生まれます。応募いただいた作品には、友達や家族、学校や地域、日常の出来事、さらには未曾有の震災やコロナ禍を乗り越えた経験について、感じたり学んだりしたことを基に「自分の生き方にどのように生かしていくのか」を自分自身に問いかける作品が多くありました。ぜひ多くの方に読んでいただきたいと思います。